

患者氏名:

脳卒中地域連携診療計画 -名古屋掖済会病院-

病名:脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、その他()

治療・リハビリ等の進行は症状によって前後しますのであくまで目安としてください。

当院で急性期治療を行った後、リハビリ専門病院で治療を継続します。

リハビリ評価ののち改めて決定されます

急性期病院(当院での治療)

回復期病院 およそヶ月入院

自宅退院・施設

急性疾患の診断と治療

機能障害・日常生活動作の改善

生活機能の維持・向上

入院期間は症状によって延びることもあります

経過	入院日	数日後	1週頃	2~3週	詳しいリハビリ評価を行い、およその入院期間が説明されます	目標に到達またはリハビリ治療の効果が一定に達すると退院になります()ヶ月	施設							
治療	点滴を行います	呼吸・循環の管理	合併症の管理	再発予防 基礎疾患の管理	   	再発予防 基礎疾患の管理 合併疾患の予防 栄養管理	※ 経過中に急変した場合は急性期病院へ連携します		 					
リハビリ	すぐにリハビリを開始し、廃用症候群を予防します	早期離床 座位訓練	早期自立 歩行訓練		  	機能障害の改善 日常生活動作の向上 廃用症候群の予防	   	 	 	障害改善のための在宅復帰や入所の準備終了	在宅改善のための在宅復帰や入所の準備終了	施設ではケアプランを作り方針を相談します	在宅改善のための在宅復帰や入所の準備終了	在宅改善のための在宅復帰や入所の準備終了
検査	入院時検査します		MRI・脳波・脳血流シンチ・採血など		   							再発予防 基礎疾患の管理 栄養管理	外來受付	
食事	絶飲食です	病状により食事があります		栄養管理	 									日常生活の維持向上 生活機能の向上 QOLの向上 廃用症候群の予防
排泄		ポータブルトイレ	トイレ歩行		 									
清潔	体を拭きます		シャワー可能です		 									
説明	入院後の説明をします	病状の説明と医療連携の説明があります			 									
主指標	重症度・介護必要度				日常生活機能指標				要介護度					

※脳出血・くも膜下出血などで手術を受けられた方は当院での入院期間が延びることがあります